

仕合わせの和

第254号

令和5年5. 1
(毎月1日発行)

魂をみがく

住職 谷川寛俊

昨年8月24日、90歳で亡くなられた京セラの稲盛和夫さんをご存知の方は多いと思います。

鹿児島県出身の実業家で、KDDI(第二電電の創業者)。この会社が出来たことで電話料金が各社競争して、今日の低価格になったとも言われています。更に一時経営破綻した日本航空(JAL)を政府からの要請により無報酬で見事に再建し、日本経済に大きく貢献されたことはあまりにも有名です。

また、毎年全国各地で中小企業経営者の勉強会「盛和塾」の塾長として、後進の育成に永年つとめられました。私も何回か参加させて頂き、とても感銘を受けましたので、稲盛和夫さんの著書「生き方」と言う本の一説を皆様にご紹介します。

『魂を磨いていくことが、この世を生きるために大切なことである』

私達人間が生きている意味、人生の目的はどこにあるのでしょうか。もともとも根源とも言えるその問いかけに、私はやはり真正面から、それは心を高めること、魂を磨くことにあると答えたのです。

|||||||中略|||||||

生きていくことは苦しい事の方が多いいものです。ときに、なぜ自分だけがこんな苦労するのかと神や仏を恨みたくなることもあるでしょう。しかし、そのような苦しい世だからこそ、その苦は魂を磨くための試練だと考える必要があるのです。苦勞とは、おのれの人間性を鍛える為の絶好のチャンスなのです。試練を「機会」としてとらえられることが出来る人、そういう人こそ、限られた人生を本当に自分のものとして生きていけるのです。

真成寺ホームページ



編集・発行

玉蓮山 真成寺

編集部 谷川久仁子

TEL・FAX 0765-22-2268

携帯 080-3744-2523

こちらの番号でもお寺につながります。

この世(現世)とは、心を高めるために与えられた期間であり、魂を磨くための修養の場である。と述べておられます。

65歳の時、心の浄化に努めたいとの思いで、京都の臨濟宗妙心寺に於いて得度(出家)までされ、お坊さんとしてのお考えもお持ちでした。そして次の8つの徳目を挙げておられます。

- 1, 大きな志を持つこと
- 2, 努力を惜しまないこと
- 3, 誠実であること
- 4, 創意を凝らすこと
- 5, 挫折にへこたれないこと
- 6, 心が純粹であること
- 7, 謙虚であること
- 8, 世のため、人のために行動すること

運命を変えていくものは、ただ一つ。私たちの心であり、人生は自分でつくるものです。

宿命は変えることは出来ないが、運命は変えることが出来る。運命はその人の心が次第で、いかようにも変えていけるのです。これが稲盛和夫さんのつかんだ「人生哲学」であり、この人生哲学をもとにして自身の運命を切り開いていかれました。最後に多くの名言の中から、私の

『世の中に失敗というものはない。チャレンジしているうちは、失敗はない。あきらめた時が失敗である』

合掌

